

健康と光線

寒い冬でも屋外で日光浴

— 太陽光の恵みを享受 —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

外に出て日焼け止めは塗らない

外に出るのが億劫な寒い冬に、暖かい部屋で窓から入るガラス越しの太陽光を浴びていると、気持ち良く日光浴をしている気分になると思いますが、ガラス越しの太陽光では日光浴の効能であるビタミンDを生成する紫外線はカットされていますので、骨粗鬆症を予防、治療する効果やがん予防効果など、本来の日光浴で期待されている効能はありません。

ん。日光浴は外に出て太陽光を浴びてください。外で日光浴をする際、日焼け止めは絶対に塗らないでください。昨今、化粧品メーカー、美容師、皮膚科専門医など美容に関係する専門家が、太陽光を浴びるとシミやシワの原因になるから、出来るだけ避けるようにして、どうしても避けられない時は日焼け止めを使うように勧めますが、日焼け止めを塗ると紫外線はカットされるので塗ってはなりません。

発行所

〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円

電話 東京 (03)
3793-5281
3712-5322

なお冬は夏と違い長時間日光浴をしても熱中症に罹る気遣いはありませんが、顔や手に一時間程度、日光浴をすれば必要なビタミンDは生成されますので、それ以上浴びる必要はありません。

日光浴の効能

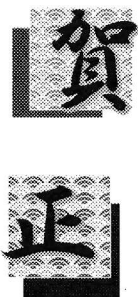
日光浴にはさまざまな効能があります。

単細胞生物からヒトに至るまで、1日24時間の昼夜のリズムを刻む体内時計は、太陽光の影響下にあり自律神経、内分泌系機能を調整します。この体内時計が作るバイオリズム(生物リズム)を日内リズムあるいは概日リズム(サーカディアンリズム)と呼びますが、その機能を

調整するのが太陽エネルギーに対応して分泌量が大きく変動する松果体ホルモンのメラトニンです。すなわち可視光線の光刺激が視神経を通じて体内時計の中枢の視床下部の視交叉上核に達し、次いで脊髄、上頸部神経節を経て、松果体ホルモンのメラトニンの分泌を抑制すること、自律神経、内分泌系機能を日中の活動に適したリズムに同調させ、光刺激がなくなるとメラトニンの分泌を促して休息や睡眠に適した夜のリズムに同調させるのです。このメラトニンのバイオリズム(日内リズム)が失われれば、自律神経系、内分泌系機能が正常に作動しなくなるため、生命現象全般のリズムを失うことにつながります。

日光浴をしていると、誰もが経験することですが、気分は爽快になります。このメカニズムについて、気分を爽快にする幸せの神経伝達物質のセロトニンがメラトニンの前駆物質なので、メラトニンの分泌を抑制する昼間のリズムでセロトニンが増えるのです。すなわちセロトニンとメラトニンとは逆相関的な日内リズムがあるため、日光浴が精神面に好影響を及ぼすのです。

なおうつ病の患者では脳および脳脊髄液中のセロトニンの分泌が低下しており、日光浴のような光刺激でセロトニンの分泌が増えることが立証されています。近年のうつ病患者が増加したのは、太陽光を浴びる機会が奪われがちな文明社会での生活がセロトニンの分泌を抑えることが関わっていると考えられています。



平成二十七年 元旦

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(五日より営業します)

一病息災 一病息災

過敏性腸症候群

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

消化管の働きや蠕動運動は、健康な方でも、身体的、精神的ストレスの影響を受けやすく、便通異常や腹痛等の消化器症状につながります。

時にわずかなストレスや刺激に対し、過敏に反応してしまつ方もいて、便通異常から生活の質を著しく低下させてしまつこともあり、過敏性腸症候群と呼ばれています。

大腸の働き

大腸は、小腸から続き、盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸までの約1.5m(成人を指します。その主な働きは、小腸で吸収しきれなかった水分を再吸収しながら、食物の残りカスを便として整えていくことで、口から入った食物は、肛門から排泄されるまで約1〜3日を要し、大腸の蠕動運動は、自律神経によりコントロールされています。

過敏性腸症候群と

その診断基準

過敏性腸症候群では、腹痛と便通異常を主体とする消化器症状が続きますが、その原因として身体的な検査を行っても器質的異常がなく、機能面での異常だけが認められる病気とされます。

過敏性腸症候群の診断基準(Rome III)

国際的な診断基準では、6か月以上前から症状があり、過去3か月間は「月に3日以上にわたり腹痛や腹部不快感を繰り返し、以下の項目の2つ以上がある」と定義されます。

- ① 排便により症状が軽減する
- ② 発症時に排便頻度の変化がある
- ③ 発症時に便形状の変化がある

過敏性腸症候群

の分類

過敏性腸症候群は、便通異常から三つに分けられます。下痢型は、若い人に多く、通勤や通学途中に急にお腹が痛くなり何度か駅のトイレに駆け込むといっ

た症状を呈します。便秘型は、女性に多く、年齢を増すにつれ多くなる傾向があり、排便困難が続く、コロコロとしたウサギの糞のような便が出たり、いつも残便感を感じる人もいます。また交替型では、下痢と便秘を繰り返すため、精神的に不安定になりやすく、下痢止めを使つた後で、便秘に悩まされるといふ人もいます。

過敏性腸症候群

便秘型

大腸での水分吸収が進み過ぎ、便が硬く排便に困難をともなう状態であり、数日に1回の排便でも、便が硬くなく、つらい症状がなければ便秘とは言いません。過敏性腸症候群の便秘型では、心理的ストレスにより自律神経系が乱れ、大腸の蠕動運動が減少するため、腸の内容物の移動が遅くなり、必要以上に水分が吸収されて硬い便が作られます。

過敏性腸症候群

下痢型

大腸での水分の再吸収が十分のため、水分量の多い便が排泄されます。過敏性腸症候群の下痢型では、大腸の蠕動運動が亢進するため、十分、水分の吸収がされず、便を適度な硬さにできなくなり、軟便や水様便となります。大腸の運動が活発となり、食事ごとに下痢となる人もいます。

過敏性腸症候群と

光線療法

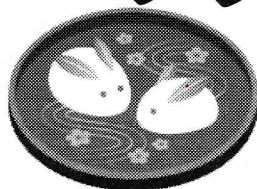
過敏性腸症候群の治療は、生活習慣の改善、食生活の工夫、生活リズムや排便習慣の改善に、心理療法や薬物療法を適宜組み合わせで行います。

消化管機能、蠕動運動の調節に加え、自律神経の調整、精神面での安定といった作用を併せ持つサナモア光線療法は、どのタイプの過敏性腸症候群に対しても効果的です。毎日の照射により、消化管の運動がコントロールされますので、便通異常でお悩みの方は、サナモア光線療法をお試しください。

謹
賀
新
年

明けましておめでとござい
ます。サナモア光線治療院は、
今年十五周年の節目の年を迎
えますが、開院以来、本当に数
多くの方にご来院頂きました。
この場を借りて御礼申し上げます。
本年も引き続き、実際の光

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.60

宇都宮 正範

線治療を通して、一人でも多く
の方に、サナモア光線療法をご
理解頂けるよう、職員一丸となっ
て努力する所存でおりますので、
よろしくお願い申し上げます。

第二十期

サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

本年度も、昨年と同様、サナ
モア光線治療師養成講座を六月
末に開講する予定でおります。

光線治療院の開業をご検討され
ている方やサナモア光線療法に
ついて勉強したいとお考えの方
は、サナモア光線治療院(03-
5759-3710)までご連
絡下さい。

なお、日程等の詳細につきまし
ては、次号に掲載させて頂きます。

第四十二回

「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治療例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非参加下
さい。なお参加は無料です。
日時：四月十八日(土)
午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院
三階会議室

サナモア

地方部会報告

会津サナモア光線愛好研究会

通称ASKIK(あすきく)

昨年8月31日に、福島県会津
若松市において開催された地方
部会の報告をさせて頂きます。

この会は、平成元年に会津地
域のサナモア愛好者を中心に発
足した会で、現在、会員は約20
名、代表には、猪俣一夫氏が就
任されています。これまでも、
年一回夏に、親睦を含めた会を
開催しており、そのなかで、講
演会や医療相談が行われまし

たが、当日、サナモア光線協会
本部からは、宇都宮正範が参加
致しました。

会の通称の「あすきく」の意
味については、サナモア光線療
法の効果が、翌日(明日)に顕著
に表れるといったことにかけて
いるとのことでした。

なお、当日の参加者は、山内
惣悦前会長、猪俣一夫会長ご夫
妻、小林文昭ご夫妻、天野容子、
二瓶文博、二宮多恵子です敬
称略写真。

募 集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720



第26回 日本療術学会から

仙台市 江陽グランドホテル 平成26年11月16日(日)〜17日(月)

シンポジウム

求められる療術

―健康増進をめざして―

(財)全国療術研究財団

光線部会 宇都宮 光明

(財)全国療術研究財団
光線部会
宇都宮 光明転倒・骨折・
寝たきりのリスク

わが国は世界に例を見ない速さで高齢社会を迎えたが、高齢者は誰しも健康長寿を願っている。この願いを叶える意味合いで、アンチエイジング抗加齢・抗老化が声高に叫ばれているが、大半を占めるのは、しわ取り、しみ取り、美白クリームのも

ような紫外線カット化粧品、ホルモン補充療法、サプリメントなどである。しかしアンチエイジングが目指すべき真の目標は、加齢に伴う身体機能や精神機能の低下を防いで良好な健康状態を維持し、自立した社会生活を営むことではない。

光線療法を営む立場でアンチエイジングについて述べれば、生命は人智を超えた自然の摂理で生かされており、日光の紫外線の恵みで生成されるビタミンDが健康長寿に欠かせないことを認識することである。高齢者のビタミンD生成能は70代では20代の半分になるため、高齢者

の半数はビタミンD欠乏状態にあるとする調査報告がある。ビタミンDが欠乏すると、骨粗鬆症が増悪して骨はボロボロになり、筋組織は破壊されて筋力を保てなくなる。筋肉の障害をミオパチーと呼ぶが、この筋力低下はビタミンD欠乏状態が解消すると改善することから、ビタミンD反応性ミオパチーと呼ばれている。症状は高齢者ほど顕著に表れ、転倒、骨折、寝たきりのリスクを高めるのである。

カルシウム

代謝調節ホルモン

カルシウム代謝を調節するビタミンDは、1920年代に日光浴をすると生成される抗くる病因子として発見されたため、「日光ビタミン」の別称がある。その後、ビタミンDは小腸粘膜上皮細胞に作用してカルシウムを吸収する際にカルシウムと結合する蛋白、すなわちビタミンD依存性カルシウム結合蛋白を

生成することが明らかにされた。それ故、ビタミンDが欠乏するとカルシウム結合蛋白の生成が不十分になり、カルシウムの摂取量が十分でも吸収量が不足してカルシウムの血中濃度が低下する可能性が生じるが、パラソルモンの作用で骨からカルシウムの溶出(骨吸収)を促し、不足するカルシウムを補うのである。そのためビタミンD欠乏がクル病、骨軟化症、骨粗鬆症の危険因子になるのであるが、この際、過剰に溶出したカルシウムが組織内、細胞内に移行し、次に述べるカルシウムパラドックスを起こすのである。なおカルシトニンとはカルシウム濃度が高い海で暮らす魚の体内カルシウム濃度を海水より低く保つ作用があるが、ヒトでの作用は未解明な点が多い。

カルシウム

パラドックス

カルシウムは身体を構成する

60兆の細胞が役割分担に応じて働くための情報伝達を担っているが、そのためには細胞内カルシウム濃度を細胞外カルシウム濃度の一万分の一に保つ必要がある。しかし前述したようにビタミンDが欠乏してカルシウムの吸収が不十分だと、パラソルモンの作用で骨から過剰なカルシウムが溶出して細胞内へ移動するため、細胞内カルシウム濃度が上昇して一万分の一の濃度差が失われる。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、足りないのと下がるのではなく上がるのを逆説、パラドックスと考えたと思われる。

カルシウムパラドックスを起こすと生理機能を損ない、生活習慣病を始め、あらゆる病気の危険因子になる。この点に関して循環器系に及ぼす影響で説明すると、動脈中膜の平滑筋細胞内のカルシウム濃度がカルシウムパラドックスで上昇すると、

(四ページからつづく)

平滑筋細胞が収縮して高血圧になり、また石灰沈着を促すため動脈硬化は進行、悪化する。

ビタミンDの

細胞分化誘導作用

ビタミンDにはカルシウム代謝を調節する作用に加えて、細胞のビタミンD受容体を介して細胞分化を誘導する作用がある。ビタミンD受容体をもつ標的器官を挙げれば、小腸粘膜上皮細胞、副甲状腺の主細胞、骨組織のようにカルシウム代謝に直接関係する器官、臓器だけでなく、

脳下垂体の甲状腺刺激ホルモン分泌細胞、腎臓の遠位尿管細胞、脾臓のβ細胞、胃のガストリン分泌細胞、軟骨細胞、表皮細胞、脂肪細胞、胎盤、免疫担当細胞、癌細胞などである。ここでは免疫担当細胞と癌細胞について考察する。

まずビタミンDが免疫担当細胞を介して免疫応答を調整する

作用について述べる。免疫応答は一兆といわれる免疫を担当する細胞が役割に応じて分化して、相互に情報を交換し連携して作動しているが、免疫を担当する細胞の分化を誘導する受け皿になるのがビタミンD受容体で、マクロファージ、胸腺内成熟T細胞、活性化した末梢T細胞、B細胞にあり、ビタミンDが細胞分化を直接促して、免疫応答を調節することが明らかにされている。

次にビタミンDと悪性腫瘍との関連について考察する。現在、わが国では三人に一人は癌で死亡しているが、ビタミンDに癌を予防する効果があることが報告されている。その切っ掛けは、ガーランド博士が1980年に地理病理学的に日照に恵まれ紫外線被曝量の多い地域と少ない地域で乳癌と大腸癌の発症率、死亡率を比較し、多い地域で低いことを報告したのを嚆矢とする。なおガーランド博士は癌予

防にビタミンDのカルシウム代謝調節作用と細胞分化誘導作用が果たす役割を重視した。その後、卵巣癌、前立腺癌、悪性リンパ腫で同様な報告がなされている。

グラント博士は2002年3月に発刊されたアメリカの医学雑誌キャンサー(癌)に紫外線被曝量の多いアメリカ南西部諸州と少ない北東部諸州の癌発症率、死亡率を比較検討した結果、前述の癌に加えて膀胱癌、食道癌、腎臓癌、肺癌、脾臓癌、直腸癌、胃癌、子宮癌の十三の癌で、食事や煙草など癌に関わる既知の要因で補正しても、紫外線被曝量と癌とは明らかな関係があり、紫外線被曝量が少ない地域で多い地域に比べ死亡率がほぼ二倍に上昇する癌もあると報告した。またショウ博士らは1982年に皮膚癌の一つの悪性黒色腫は日光を浴びない屋内労働者に多く屋外労働者の二倍になると報告している。このよ

うに紫外線を十分に浴びないと癌の発症率、死亡率が上昇することから、紫外線に癌を予防する効果があることが示唆されるが、グラント博士はその作用機序についてガーランド博士と同様にビタミンDを重視している。そのためグラント博士は紫外線の弱い季節にはビタミンDをサプリメントで補うことを勧めている。しかし光線療法を日常の習慣にすれば、常に日光浴をしていることになるから、その必要はない。

なお阿部らは1981年、実験的にビタミンDがマウスの骨髄性白血病細胞のビタミンD受容体を介して白血病細胞の増殖を抑制し、マクロファージへの分化を促すことを報告した。

自律神経系、

内分泌系機能の調整

単細胞生物からヒトに至るまで、太陽エネルギーを受けることで1日24時間の自律神経、内

分泌系機能のリズムを調整する体内時計がある。この体内時計が作るバイオリズム(生物リズム)を日内リズムあるいは概日リズム(サーカディアンリズム)と呼ぶが、このリズムを調整するのが昼夜に対応して分泌量が変動する松果体ホルモンのメラトニンである。

すなわち光刺激が視神経を通して体内時計の中枢の視床下部の視交叉上核に達し、次いで脊髄、上頸部神経節を経て松果体ホルモンのメラトニンの分泌を抑制すること、自律神経系・内分泌系機能を日中の活動に適したリズムに同調させ、約16時間後、光刺激がなくなる頃になるとメラトニンの分泌を促して休息や睡眠に適した夜のリズムに同調させる。このメラトニンのバイオリズムが狂えば、自律神経・内分泌系の機能が正常に作動しなくなるため、身体のあらゆる機能は変調を来し健康を失うことにつながるのである。



上野健太郎先生逝去

ウエノ光線療研代表 上野 健太郎先生は、平成二十六年九月七日、午前零時四十五分、享年九十一歳にて逝去されました。葬儀は故人の遺言により、近親者のみの家族葬という形で、通夜、告別式がしめやかに執り行われました。先生は、健康と光線の発刊に合わせて必ず貴重な治験例を投稿してくださいました。健康と光線に掲載しましたので、本紙をご購読いただいているサナモア愛用者の皆様には馴染みのある先生だったと思います。

健太郎先生

ありがうございました

宇都宮 光明

上野 健太郎先生は、その生涯をサナモア光線療法の影響、普及に尽力された上野 貞先生のご長男としてお生まれになりました。健太郎先生は、お母様のご健在の時からサナモアのため手足となって働かれ、お母様亡き後も今回の訃報に接するまでの二十三年間、お母様の後を継いで尽力してくださいました。私にとって、親しく接していただいた兄貴分の健太郎先生を失ったことは痛恨の極みですが、先生亡き後、サナモアについては経験豊富なお嬢様の郷子先生が継いでくださいますので心残り

はないと思います。心よりご冥福をお祈り申し上げ、謹んで哀

悼の意を表します。どうか安らかに眠りください。

治験例報告

心窩部不快、下痢等の

消化器症状がサナモアで改善

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏報告

TEL 078-331-2358

症例 25歳 男性 大学院生

症状 以前から、胃腸は弱い方で、食べ過ぎるとお腹をこわしやすい体質であったが、三年前、自身の進路の問題と家庭の事情から神経症気味となる。その後時々、胃のあたりが痛み、むかつきを自覚するようになったため、市販の胃腸薬を服用してい

た。来所する五か月前からは、下痢状態が続き、嘔気や心窩部の不快感を認めたため、近医を受診。この時、神経性胃炎、胃下垂と診断されている。来所時には、消化器症状に加え、前頭部頭重感や鼻の奥に違和感を認め、首が凝りやすいと訴えていた。

全自動光線治療器

はつらつさんと ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてききました。この点を改良したのが全

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

療法経過 治療は、ABカーボンで、足裏20分、膝10分、ADカーボンで、腹部正面10分、左右から側腹部を各10分、腰10分照射。三回目より、ABカーボンで、後頭部10分、顔10分、背部10分の照射を追加した。当初、数日に一度のペースで治療を開始したが、親戚から借りた光線治療器で、自宅での治療も毎日並行して行った。

みやもたれは軽減。下痢も、約一週間の治療で止まった。その後、一か月が経過した頃には、消化器症状はほとんど消失し、体重も増え、顔色も良好になったと友人に言われる。これまでは、実験やレポート等で徹夜した後、二、三日は身体が重く、起きられずに大学を休むこともあったが、現在はそのようなこともなく非常に調子が良いと喜ばれている。

治
験
例
報
告

サナモアで側弯症による痛みが軽減

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二 五八一二〇三九
五七二一五七三

症例 35歳 女性

症状 患者のご主人が、病状の相談に来院。患者は側弯症のためもあり、いつも横座りのような姿勢で食事をしていたが、最近、痛みが強く、歩くこともままならない状態で、一人でベッドから起き上がるのも困難になっているとのこと。もちろん、一切の家事もできない状態で、脊椎の矯正治療と並行して、サナモア光線療法を行いたいと希望し来所した。

療法経過 治療は、当初BBカーボンを使用。患部である脊柱を、背部から痛みが和らぐま

で照射するよう指示。その後、BCカーボンに変更し、患者の状態を見ながら、少しでも長い時間照射するように指示した。

その三か月後に、電話で痛み

はかなり軽減し、少しずつ歩けるようになってきたとの報告を受けたので、こちらからは、脊椎矯正治療の前後で、必ずサナモアを照射するよう指示した。

さらにその半年後、患者本人からの報告で、子供の運動会と一緒に走ることができたと、とても喜ばれていた。こちらからは、側弯症に対して、今後もサナモアを継続する必要があることを説明した。

治
験
例
報
告

外陰腫炎と子宮頸癌に対し

サナモアで治療

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二五〇六七

症例 46歳 女性

症状 病院の婦人科で検査したところ、子宮頸癌と診断された

が、この際、外陰部にすれたような痛みを認め、膈分泌物も多く見られており、外陰腫炎とも

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

併せて診断。サナモア愛用者の紹介で、両者の治療目的にて来所したが、病院治療と並行し、光線療法を開始した。

療法経過 治療は、四台の治療器で、BDカーボンを使用。最初、仰臥位にて、外陰部、左右から前頸部、左側腹部、右膝側

面を同時に照射した。毎日通われ、30分以上の治療を連日行ったが、しばらくして光線治療器を購入。自宅での治療同様の方法で開始したが、外陰部のすれたような痛みは数日で軽快したと電話にて報告を受けた。

サナモア 光線療法 愛用者の声



サナモアに出会って

三十八年になります

〇〇市 瓦林 美恵子様

私がサナモアを紹介されてから三十八年になります。主人が脳卒中で、あっという間に他界した後、10キロも体重が落ちた私のことを心配した上野先生に「サナモアを使って少し身体を大切にしないさい。」と言われたことがきっかけでした。それ以来、サナモアを使うことがひそかな楽しみとなり、神戸の先生にカーボンを送って頂き、ずっと続けてきました。

二年前には、二台目のサナモア

アを購入しました。大切な友人にも勧めてきました。みんな喜んで使っています。持病の糖尿病が、三十年以上安定しているのもサナモアのおかげと感謝しております。横浜にいる妹も、一台購入し、腰痛に對し使っていますが、痛みがとれたと喜んでます。

時間をかけて病院に通い医師の診察を受けることもなく、家でしっかりとサナモアを照射すると、嘘のように調子がよくなります。

今は生涯の友人を得たような気持ちで、心から喜んでおり、これからも、傍らにサナモアを置き、使つつもりです。

返信

このようなお手紙を拝見し、サナモア光線療法を心から大切に思っている方があることを知りますと、決してサナモア光線療法の灯を消してはならないと強く感じます。

言われなき紫外線バッシング

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：

sanamore@hr.catv.ne.jp

を受け、かれこれ二十年以上がたちますが、この間、世間では日光浴が健康維持に必要でないといった間違った考え方が根づきつつあります。私どもは、そのような誤った考えを正し、一人でも多く、サナモア光線療法の理解者を増やそうと日々取り組んでおります。

宇都宮 正範



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八二
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)